

登録コード	J6020200	開講年度	2026				
授業科目	刑法Ⅱ				担当教員	濱田 新	
英文授業名	Criminal Law Ⅱ				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・3時限	対象学年	(20・23カリ対象科目) 経：3年 (23カリは経：2年) /法：2年
講義室	経法第1講義室			授業区分	講義	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】	
	経法20加						
	経済学または法学が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できる力を身につける。				⇔	刑法学が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できるようになる。	
	経法23加 (2026改)・応用経済、経法23加・応用経済						
	専門知識を応用・実践する力として、計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価、実験経済学による社会制度の機能の検証、医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘、法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証、などのスキルを習得し、経済の実情に即した政策提言、あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。				⇔	法制度や社会制度のうち特に刑法に関連する制度の機能や効果、影響について経済学に関する専門知識の応用・実践を通じて検証する前提として、刑法に関する法概念や理論、判例について説明することができるようになる。	
	環境問題、少子高齢化、自然・経済リスクの管理、コーポレート・ガバナンス等の法制度がかかわる問題などについて、現実に関解決を探る際には、法学、さらには、理学・工学・医学等の関連領域との協力が必要となる。このために、関連する分野の考え方を正しく理解して経済学的分析手法との相違を把握し、経済学の知見を、柔軟にまた建設的に応用できる能力を身につける。				⇔	環境問題や企業及び行政の組織内で生じる問題について、刑法に関する知見を基礎に、理工学や経済学分野の思考方法をも踏まえた総合的な解決方法を提示し、その内容を説明することができるようになる。	
	経法23加 (2026改)・総合法律、経法23加・総合法律、経法20加・総合法律						
	法学の専門領域の基礎能力として、リーガルマインドを備え、現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な法学体系の基礎専門知識を身につける。				⇔	リーガルマインドを備え、現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な刑法(主に各論)に関する基礎的な法概念や理論、判例について説明することができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	刑法Ⅱでは、刑法Ⅰで取り扱えなかった刑法各論の残りとして、共犯論について取り扱います。 刑法Ⅱでは応用力が問われる場面もあるので、まずは、刑法Ⅰでの基礎知識を確認します。 次に、刑法Ⅰでは触れなかった罪(社会的法益・国家的法益が問題となる犯罪等)について取り扱います。 また、刑法Ⅰでは、単独犯を予定した構成要件の理解が中心でしたが、刑法Ⅱでは、修正された構成要件である共犯についても取扱います。						
(5)授業計画	第 1 回 刑法の基礎(罪数) 第 2 回 逮捕・監禁罪、脅迫罪・強要罪 第 3 回 性的自由に対する罪 第 4 回 住居侵入罪 第 5 回 名誉毀損罪 第 6 回 信用・業務に対する罪 第 7 回 放火罪 第 8 回 偽造罪 第 9 回 風俗秩序に関する罪 第 10 回 公務執行妨害罪 第 11 回 犯人蔵匿及び証拠隠滅の罪 第 12 回 賄賂の罪 第 13 回 正犯と共犯 第 14 回 共同正犯 第 15 回 狭義の共犯、授業アンケートの実施 期末試験 ※小テストは授業後に毎回実施する(15回実施、一回につき4点)						
(6)成績評価の方法	小テスト(60点)＋記述式の期末試験(40点)						
(7)成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」。応用問題が解ければ「やや上にある」。やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」。例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	この授業では、授業後、教科書・レジュメを使った30分以上の復習が必要です。						
(9)履修上の注意	・刑法Ⅰを履修済みであることが望ましい。 ・教室には最新版の小型の六法を持ってくる。どの出版社のものでも構いません。 ・レジュメは前日にe-ALPSにアップします。各自、授業中レジュメを参照できるようにしてください(ノートパソコンにダウンロードする、紙に印刷するなど) ・試験の際には、判例つきではない、書き込みのない六法のみ持ち込み可とします。						

(10)質問,相談への対応	授業終了後に受け付けます。
【教科書】	井田良=佐藤拓磨編著『よくわかる刑法（第3版）』（ミネルヴァ書房・2018）
【参考書】	亀井=和田=佐藤=小池=薮中『刑法Ⅰ 総論（第2版）』（日本評論社・2024） 亀井=和田=佐藤=小池=薮中『刑法Ⅱ 各論（第2版）』（日本評論社・2024）